

空間づくりのアイデア

“感情を演出する”チェア&テーブル

身体を通じて得られた感覚が、一見無関係と思われる別の判断や意思決定に影響をおよぼすとする「身体化認知理論」。たとえば交渉の場では、椅子の硬さが相手の要求の強さに影響したり、素材の柔らかさや温かさによって他者を優しい人物と評価したり。家具はいわば、物理的な感覚と内なる感情を直結させる装置。空間の体験価値は、チェア&テーブルのセレクトから生まれます。

How to choose CHAIR&TABLE

1 チェア

カフェエリアでは、丸テーブルと背のラウンドしたチェアの組み合わせが、柔らかな一体感を演出。視覚的な柔らかさに加え、姿勢や視線が対面しないため、コミュニケーションも軽やかに。

チェア: マニコB 1N
(張材: 布地・B-77グリーン、ライトグリーン) (P36)
テーブル: T30 W2 (750Φ 697H) (P312)

2 ラウンジソファ

身体をしっかり支えるラウンジソファがくつろぎを演出。さらに照明やラグによってエリアの独立性を強調することで、より親密で円滑な関係性を築きます。

ソファ: アペルトW 1N(張材: レザー・H-61 No.3) (P248)
テーブル: TB2395-US(600Φ 420H) (P367)

3 ベンチソファ

テーブルとベンチのシステムユニット。壁の本を手にとって気分転換したり、待ち合わせをしたり。多方向から自由に腰掛けることができるフォルムが、様々な状況をつくります。

ベンチ: フィカネTNL DB、フィカネSE DB
(張材: 布地・S-39ダークグレー) (P246)
テーブル: フィカネTA DB(600W 600D 297H) (P246)

4 パーソナルチェア

視界や音をさえぎることで集中力を向上させるウイングバックのパーソナルチェアを、庭に面したエリア=外部との境界に配置。リラックスして個と向き合うことで、脳を活性化させたり、気持ちの切り替えをうながします。

チェア: リプロン
(張材: 布地・D-19イエロー) (P249)

5 ハイチェア

大きなハイテーブルは、ソロワークやランチなど多目的に利用可能。また座った時の目線の高低差は、エリア毎の感情をコントロールする重要な要素のひとつです。

チェア: タストカウンターA5N-OA
(張材: 布地・C-52ダークグレー) (P212)

